

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公表番号】特表2008-510848(P2008-510848A)
 【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-014
 【出願番号】特願2007-527984(P2007-527984)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)
 C 0 8 K 5/09 (2006.01)
 C 0 8 L 67/00 (2006.01)
 B 6 5 D 65/38 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00
 C 0 8 K 5/09
 C 0 8 L 67/00
 B 6 5 D 65/38

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月18日(2008.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

包装物品用の溶融ブレンド樹脂であって、

前記溶融ブレンド樹脂から製造された物品が約0.25未満のCDFを有するように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤を含むことを特徴とする溶融ブレンド樹脂。

【請求項2】

0.01(cc(STP)・cm)/(m²・気圧・日)未満の酸素透過度を有する着色ポリエステル単層容器であって、前記単層容器が約0.25未満のCDFを有するように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドを含むことを特徴とする容器。

【請求項3】

0.01(cc(STP)・cm)/(m²・気圧・日)未満の酸素透過度を有する単層フィルム、熱成形可能なトレー、またはブロー成形容器であって、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドから形成されることを特徴とする単層フィルム、熱成形可能なトレー、またはブロー成形容器。

【請求項4】

包装物品用のポリマーブレンドであって、前記ブレンドが遷移金属触媒イオンの結合エネルギーを1eVより多く増大させないように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドを含むことを特徴とするポリマーブレンド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

本発明の特定の実施形態が詳細に記載されてきたが、本発明は範囲が対応して限定されず、本明細書に添付される特許請求の範囲の精神および条件内に入るすべての変化および修正を含むことが理解されるであろう。

以下に本明細書に記載の発明につき列記する。

1. 包装物品用の溶融ブレンド樹脂であって、前記溶融ブレンド樹脂から製造された物品が約0.25未満のCDFを有するように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤を含むことを特徴とする溶融ブレンド樹脂。
2. 前記着色剤が、遷移金属触媒イオンの結合エネルギーを1 eVより多く増大させないことを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
3. 前記ベースポリマーが、ポリエステルであることを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
4. 前記ポリエステルが、ポリエチレンテレフタレートのコポリエステルであることを特徴とする前記3.に記載の溶融ブレンド樹脂。
5. 前記被酸化性有機ポリマーが、部分芳香族ポリアミドであることを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
6. 前記部分芳香族ポリアミドが、MXD6であることを特徴とする前記5.に記載の溶融ブレンド樹脂。
7. 前記被酸化性有機ポリマーが、ポリブタジエンであることを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
8. 前記遷移金属触媒が、コバルト塩であることを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
9. 前記コバルト塩が、ステアリン酸コバルトであることを特徴とする前記8.に記載の溶融ブレンド樹脂。
10. イオン性相溶化剤を含有することを特徴とする前記1.に記載の溶融ブレンド樹脂。
11. 前記相溶化剤が、スルホン酸金属塩を含有するコポリエステルであることを特徴とする前記10.に記載の溶融ブレンド樹脂。
12. 前記スルホン酸金属塩が、5-スルホイソフタル酸ナトリウムであることを特徴とする前記11.に記載の溶融ブレンド樹脂。
13. 0.01(cc(STP).cm)/(m².気圧.日)未満の酸素透過度を有する着色ポリエステル単層容器であって、前記単層容器が約0.25未満のCDFを有するように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドを含むことを特徴とする容器。
14. 前記着色剤が、遷移金属触媒イオンの結合エネルギーを1 eVより多く増大させないことを特徴とする前記13.に記載の容器。
15. 前記遷移金属触媒が、コバルト塩であることを特徴とする前記13.に記載の容器。
16. 前記コバルト塩が、ステアリン酸コバルトであることを特徴とする前記15.に記載の容器。
17. 前記ベースポリマーが、ポリエステルまたはコポリエステルであり、かつ、前記被酸化性有機ポリマーが、部分芳香族ポリアミド、ポリブタジエン、またはポリエチレン/シクロヘキセンコポリマーであることを特徴とする前記13.に記載の容器。
18. 0.01(cc(STP).cm)/(m².気圧.日)未満の酸素透過度を有する単層フィルム、熱成形可能なトレイ、またはブロー成形容器であって、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドから形成されることを特徴とする単層フィルム、熱成形可能なトレイ、またはブロー成形容器。

19. 包装物品用のポリマーブレンドであって、前記ブレンドが遷移金属触媒イオンの結合エネルギーを1 eVより多く増大させないように、ベースポリマー、被酸化性有機ポリマー、遷移金属触媒、および着色剤の溶融ブレンドを含むことを特徴とするポリマーブレンド。

20. 前記ブレンドが、約0.25未満のCDFを有することを特徴とする前記19.に記載のポリマーブレンド。